

「健康」？ 「環境」？

小座野 貴弘

五洋建設株式会社 技術研究所
〒329-2746 栃木県那須塩原市四区町1534-1

最近、テレビを見ていると「健康食品」と謳っているコマーシャルがよく目に入るようになりました。

コマーシャルの中には、ドキュメンタリー仕立てのものもあってつい引き込まれてしまい最後まで見ってしまうこともあるのですが。

そもそも「健康食品」なるものは、きっちりとした定義なりカテゴリーがあるわけでは無いのですね。

調べてみますと、厚生労働省では、「健康食品」と呼ばれるものについては法律上の定義は無く、「広く健康の保持増進に資する食品として販売・利用されるもの全般を指しているもの」と紹介されています。国の制度としては、国が定めた安全性や有効性に関する基準等を満たした「保健機能食品制度」があります。「特定保健用食品」、「栄養機能食品」です。詳細は割愛しますがご興味のある方はそれぞれ調べてみてください。

したがって、世の中に出回る「健康食品」には、ある特定の範囲において科学的に効力が認められているものもあれば、愛用者の感想などにとどまるものもあり、実際、玉石混合といったところでしょうか。“病も気”からではないですが精神的な健康もありますので、愛用者が服用して“健康”と感じられるのならその人にとっての“健康食品”かもしれません。

健康を謳った我々に関係するところでは、「健康住宅」があります。こちらも特に定義があるわけではなくいわゆる造語でしょうが、シックハウス症候群の原因とされる有害物質が室内で放散しないように、使用する建材に配慮した住宅としてよく用いられているようです。シックハウスが大きな社会問題になった頃から増えているように感じます。

実は当社では、20年ぐらい昔に「健康住宅」というコンセプトの技術開発を行いました。中身は、住戸全体を24時間常時少風量で換気を行う換気システムの提供、カビ発生を抑制する建材の提供、湿気のこもりやすい浴室の効率的な換気システムの提供でした。

高気密化した特に集合住宅では、昔の住宅のように自然に外の空気と入れ替わることが少なく、室内の空気がよどみ、カビなどの微生物が発生しやすい環境になっているので、それを解消できれば予防的な形で健康維持に寄与するのではないかという発想で開発を行ったものです。小職の恩師でもある千葉工業大学小峯教授の協力を頂き開発を進めました。その後、実際に当社施工の大規模マンションにも適用されました。

それからしばらくしてシックハウスが社会的な問題となって、それを契機にして居住環境における換気の義務化がなされた訳ですが、多少なりとも世の中の役に立てたかもしれません。

さて、翻って室内「環境」分野ではどうでしょうか。こちらさまざまなものが満ちあふれています。

特に情報を入手する手段が多角化されて、さまざまな製品の情報について目にするようになり選択肢が広がって良い面もありますが、目にする製品の中には「その効果は本当なの？」といったものや、「原理がよくわからない？」と疑いたくなるものも数多く出回っているように感じます。もちろん、きちんとした原理に基づいて適用範囲を明確にし、適正な評価を行ったものも多く存在します。

私たち室内環境学に携わる者としては、このような多くの環境製品に対して、情報を分析し適正な判断基準を持って適正に評価し発信していくことも役割の一つかもしれません。工作上、省エネルギー技術に関心をおくようになり、その技術の原理や実質的な効果について日々勉強している中で特にそう感じています。